

国は、平成32年9月までに、**ジェネリック医薬品の数量シェア**を**80%以上**とする新たな目標を掲げています。

*[後発医薬品の数量]/([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品])

使ってみませんか？ジェネリック医薬品

みなさん、最近、ジェネリック医薬品という言葉を目にすることがあるかと思いますが、そもそもジェネリックとはどういう意味なのでしょう。

今回は、ジェネリック医薬品にまつわる疑問について、お答えしたいと思います。

Q1 そもそもジェネリック医薬品って何？

A1 新しく開発された薬(先発医薬品)の特許満了後に、他メーカーが**その薬の有効成分、効き目として申請し、国が同等であると承認した医薬品**のことです。

製剤技術の進歩により、味やにおい、大きさを改良し、飲みやすくしたものもあります。

Q2 なぜ、ジェネリック医薬品は安い？ 効果や安全性が心配だけど？

A2 ジェネリック医薬品は、先発医薬品に比べて開発や経費を大幅に抑えられるため、一定のルールの基、**先発医薬品の約2～7割の価格になっています**。安いから、品質が悪い訳ではないのです。

また、ジェネリック医薬品の効果や安全性については、同じ有効成分で長年使用されている先発医薬品により確認されているので安心です。

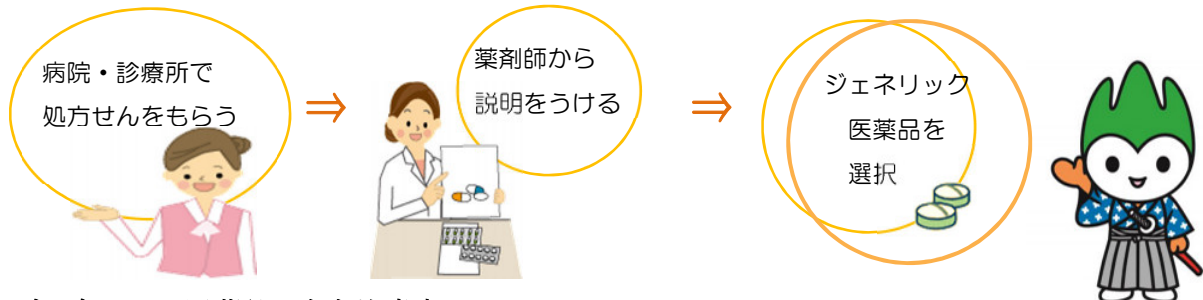
Q3 ジェネリック医薬品を使用するメリットは？

A3 ジェネリック医薬品は、先発医薬品と比較すると価格が安く設定されています。

そのため、生活習慣病のように**長期間飲み続ける必要がある方は、ジェネリック医薬品に変更すると、薬代が大幅に抑えられます**。

また、自己負担分を除いた薬代は、公的な医療保険や税金から支払われています。ジェネリック医薬品の使用による薬代の削減によって**保険料や税金の負担を減らす**ことができるため、個人だけでなく、日本の国民皆保険制度の維持することにもつながるのです。

Q4 ジェネリック医薬品を処方してもらうにはどうしたらいいの？



※ ジェネリック医薬品の主な注意点

- 先発医薬品によっては、ジェネリック医薬品が発売されていないものもあります。
- 病気や体質によっては、医師の判断により先発医薬品からジェネリック医薬品に変更できない場合があります。
- 医療機関や薬局により、取り扱っているジェネリック医薬品が異なります。
- 薬局に在庫がないとき、お薬を用意するのに時間がかかる場合があります。